

平成 29 年度

広島大学大学院先端物質科学研究科

(博士課程後期)

学 生 募 集 要 項

10月入学

一般選抜  
社会人特別選抜

Application to Doctoral Program,  
Graduate School of Advanced Sciences of Matter,  
Hiroshima University

October 2017 Enrollment

General Admission  
Special Selection as a Student with Careers

平成 29 年 4 月  
April 2017

広 島 大 学  
Hiroshima University

## 先端物質科学研究科のアドミッション・ポリシー

### 1 求める学生像

先端物質科学研究科では、十分な基礎学力を有し、本研究科の教育と研究に強い興味と学習意欲を持つ、次のような人を求めています。

- (1) 理工を融合した新しい科学技術分野に挑戦する意欲に燃え、新領域における研究者や高度専門技術者を目指す人
- (2) 理学系、工学系を問わず、専門分野での研究者・技術者を目指す人
- (3) 出身大学・学部を問わず、広範な学問領域に触れる機会を持ちたい人
- (4) 学問的基礎や応用研究のみでなく、実践力やビジネスセンスなどを修得し起業を目指す人

### 2 入学者選抜の基本方針

先端物質科学研究科に量子物質科学専攻、分子生命機能科学専攻、半導体集積科学専攻を設置しており、修了後の幅広い進路に対応するこれらの人を受け入れるため、ディプロマ・ポリシー、及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

各専攻のアドミッション・ポリシー（抜粋）

#### 量子物質科学専攻（博士課程後期）

### 1 求める学生像

量子物質科学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、本研究科の教育と研究に強い興味と学習意欲を持つ、次のような人を求めています。

- (1) 理学と工学の融合した科学分野の知見を有し、高度な研究能力と専門技術を学んで博士を取得し、研究者や技術者など高度な専門性を要する職業に従事することを目指す人
- (2) 入学前の出身学部などの経歴にとらわれず、理学と工学の専門分野やその融合分野に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 学問的な観点からの科学の探求やその応用だけでなく、起業など新たなビジネス分野への取り組みを目指す人

入学前の専門分野等は問わないが、以下の「入学者選抜の基本方針」に記載されている学生選抜方法において合格するに十分な適性を備えていること。

### 2 入学者選抜の基本方針

学力検査による一般選抜に加え、外国人、社会人等を対象とした特別選抜などの多様な選抜方法により、本専攻の求める学生像に合致した学生の選抜に努めます。

#### 【一般選抜】

博士課程前期での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、

学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

#### 【社会人特別選抜】

博士課程前期での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

### 分子生命機能科学専攻（博士課程後期）

#### 1 求める学生像

分子生命機能科学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身に付けてきた人を求めています。

- (1) 学力については、専門分野では深い知識を持ち、専門以外の分野の知識も身につけ、学際的な研究を発展させる意欲を有している人
- (2) 研究能力については、これまでの研究歴を問いませんが、理工を融合した新しい科学技術分野に挑戦する意欲に燃えている人
- (3) コミュニケーション能力については、論理的に思考する力と、最先端研究を社会に理解されるようにやさしい言葉で表現する能力を有している人
- (4) 英語力については、研究内容を英語でディスカッションできるレベルの能力を有する人

#### 2 入学者選抜の基本方針

学力検査による一般選抜に加え、外国人、社会人等を対象とした特別選抜などの多様な選抜方法により、本専攻の求める学生像に合致した学生の選抜に努めます。

#### 【一般選抜】

博士課程前期での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

#### 【社会人特別選抜】

博士課程前期での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

### 半導体集積科学専攻（博士課程後期）

#### 1 求める学生像

半導体集積科学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身に付けてきた人を求めています。

- (1) 理工を融合した新しい科学技術分野に挑戦する意欲に燃え、新領域における研究者や高度な専門技術者を目指す人
- (2) 理学系、工学系を問わず、専門分野をより深めた研究者・技術者を目指す人

- (3) 学問的基礎や応用研究のみでなく、実践力やビジネスセンスなどを修得し起業を目指す人

入学前の専門分野等は問わないが、以下の「入学者選抜の基本方針」に記載されている学生選抜方法において合格するに十分な適正を備えていること。

## 2 入学者選抜の基本方針

学力検査による一般選抜に加え、外国人、社会人等を対象とした特別選抜などの多様な選抜方法により、本専攻の求める学生像に合致した学生の選抜に努めます。

### 【一般選抜】

博士課程前期での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

### 【社会人特別選抜】

博士課程前期での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

## 先端物質科学研究科の教育・研究目標

本研究科では、理学及び工学が融合しあった分野を新しい教育・研究分野として捉え、組織的な教育に加え、学際的かつ総合的な教育・研究を行い、広い学識及び実務能力を持って国際社会の中で活躍できる専門技術者及び研究者を養成します。

### 各専攻の教育・研究目標

|            |  |
|------------|--|
| 量子物質科学専攻   | 物質を量子現象の発現の場として捉え、量子物理学の基礎に関する教育研究と、物質の量子的振る舞いの応用に関する教育研究を行い、物質科学分野の先進的な研究者・専門技術者の養成を目指します。          |
| 分子生命機能科学専攻 | 微生物を中心に動植物を含めた生命機能を分子レベルで解明し、その成果を活用する先端的教育研究を行って、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの高度な知識と技術を身につけた研究者・技術者の養成を目指します。 |
| 半導体集積科学専攻  | 情報社会の基盤技術であるナノデバイス、ナノテクノロジー、デバイスモデリング及び回路・アーキテクチャ設計に関する世界最先端の研究を行い、実践的な教育を通して、視野の広い研究者・専門技術者を養成します。  |

平成 29 年 10 月本学大学院先端物質科学研究科（博士課程後期）に入学させる学生を次のとおり募集します。

## 1. 募集人員及び試験場等

| 専攻名        | 募集人員 |         | 願書受付場所<br>及び<br>試験場   |
|------------|------|---------|---|
|            | 一般選抜 | 社会人特別選抜 |   |
| 量子物質科学専攻   | 若干名  | 若干名     | <b>【願書受付場所】</b><br>〒739-8530<br>東広島市鏡山一丁目3番1号<br>広島大学先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）<br><br><b>【試験場】</b><br>広島大学大学院<br>先端物質科学研究科 |
| 分子生命機能科学専攻 | 若干名  | 若干名     |   |
| 半導体集積科学専攻  | 若干名  | 若干名     |   |

## 2. 出願資格

各選抜に対する出願資格は、次のとおりです。

### 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成 29 年 9 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 9 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 9 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 9 月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 9 月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者であって、平成29年9月末日までに24歳に達したもの

[注] 出願資格(7)または(8)に該当する志願者は、出願手続を行う前に出願資格の認定が必要ですので、「7. 出願資格の認定について」を参照してください。

#### 社会人特別選抜

入学時に、企業、官公庁又は学校に技術者・研究者・教員等として勤務し、入学後もその身分を有し次のいずれかに該当する者、又は、現職でなくても2年以上の勤務経験を有する者で次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年9月1日文部省告示第118号)
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者であって、平成29年9月末日までに24歳に達したもの

[注] 出願資格(7)または(8)に該当する志願者は、出願手続を行う前に出願資格の認定が必要ですので、「7. 出願資格の認定について」を参照してください。

### 3. 出願手続

(1) 入学願書受理期間

平成29年7月18日(火)から7月24日(月)17時15分まで

持参の場合、受付時間は8時30分から17時15分までとする。  
 ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けていません。  
 郵送の場合、書留郵便で7月24日(月)17時15分までに必着すること。

(2) 提出書類等 (No.1～No.14)

※ 提出書類のうち、外国語(日本語と英語以外)によるものには、日本語又は英語の訳を付すこと。

※ 証明書類は、必ず原本か、原本証明された写しを提出すること。原本証明のない写しは証明書として認められません。

| No | 書類等の名称                        | 提出書類     |             | 摘 要   |
|----|-------------------------------|----------|-------------|---|
|    |                               | 一般<br>選抜 | 社会人<br>特別選抜 |   |
| 1  | 入学志願票・受験票・<br>(入学検定料振込証明書貼付票) | ○        | ○           | 交付の用紙を使用。   |
| 2  | 履 歴 書                         | ○        | ○           | 外国人の志願者のみ。  |
| 3  | 学 業 成 績 証 明 書<br>(学部) (注1)    | ○        | ○           | 出身大学の学部のもの。   |
| 4  | 学 業 成 績 証 明 書<br>(修士課程) (注1)  | ○        | ○           | 出身大学院の修士課程のもの。  |
| 5  | 修士課程修了(見込)<br>証明書 (注1)        | ○        | ○           | 修士課程修了以外の志願者はこれに代わるもの。既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。<br>*中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学院を修了, 又は修了見込みの方は, (3)を参照してください。 |
| 6  | 博士課程後期において希望する研究課題, 構想        | ○        |             | 交付の用紙を使用。   |

|    |                             |   |   |  |
|----|-----------------------------|---|---|--|
| 7  | 修士論文の概要<br>又は研究経過           | ○ |   | 用紙はA4判とし、400字程度で様式は随意。<br>ただし、英文の場合は100ワード程度とします。  |
| 8  | 研究成果報告書                     |   | ○ | 交付の用紙を使用。出願時までの研究成果の概要を記載してください。   |
| 9  | 研究成果報告書<br>に関する説明資料         |   | ○ | 交付の用紙を使用。学術論文等がある場合は、そのリスト及び論文別刷を添付してください。   |
| 10 | 修士論文要旨                      |   | ○ | 交付の用紙を使用。修士課程修了者のみ。  |
| 11 | 研究計画書                       |   | ○ | 交付の用紙を使用。  |
| 12 | 検 定 料<br>入学検定料振込証明書<br>(注2) | ○ | ○ | 30,000円。<br>広島大学入学検定料振込依頼書(入金票)[本学専用用紙]により、入学検定料振込証明書、入学検定料領収書、入学検定料振込依頼書(入金票)の <b>太ワクの中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入</b> して、都市銀行、地方銀行等の本支店の窓口で振り込んでください。(ゆうちょ銀行及び郵便局(以下「ゆうちょ銀行」)から振り込む場合は、ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等、別途手続きが必要となります。詳細は振込依頼書(入金票)をゆうちょ銀行窓口にて提示の上、ご相談ください。また、ゆうちょ銀行を含む各銀行ATMからは振り込めませんのでご注意ください。)なお、振込手数料は振込人負担となります。また、「受付金融機関出納印」欄に、平成29年7月24日(願書受理期間の最終日)までの出納印のあるものに限り有効となりますので、銀行等の窓口の受付時間を確認のうえ振り込みを行ってください。入学検定料振込証明書は、「入学検定料振込証明書貼付票」に貼付してください。 |
| 13 | 返信用封筒<br>(受験票送付用)           | ○ | ○ | 長形3号定形封筒(12cm×23.5cm)に本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください。  |



|    |          |   |   |   |
|----|----------|---|---|---|
| 14 | 在留カードの写し | ○ | ○ | 日本在住の外国籍の志願者のみ提出してください。<br>裏面に住所が記載されている場合は、両面をコピーしてください。 |
|----|----------|---|---|---|

- (注1) 本研究科の博士課程前期修了(見込)者は、3, 4, 5の提出を必要としません。  
(注2) 本学大学院各研究科博士課程前期を平成29年9月に修了見込みの者は、検定料の納付を必要としません。  
(注3) 出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

ただし、次の①・②の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面(様式は任意)に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、平成30年2月28日(水)までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

- ① 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合  
② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号

広島大学東広島地区運営支援部共通事務室 出納担当

(電話) 082-424-7811 (FAX) 082-424-6962

(3) 中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学院を修了(見込み)した方

中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学院を修了した、または修了見込みの方は“毕业证书”及び“硕士学位证书”に加え、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)により以下の書類を取得し、あわせてご提出ください。

既卒者の場合……学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)

修了見込み者の場合……オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

なお、発行手数料は1件につき2元かかりますが、志願者が負担すること。また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。

(4) 出願方法

志願者は、前記(2)の書類等を取りそろえ、入学願書受理期間内に提出してください。  
なお、出願書類等に不備のある場合は受理しません。

(5) 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は定めない。）を先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）に提出し、相談してください。

なお、事前相談の結果、精密検査が必要と認めた者には、本学において精密検査を実施します。

ア 相談の期限

点字による受験等の特別な準備を必要とする者については平成29年5月19日（金）までに相談してください。

その他は原則として平成29年5月26日（金）までとします。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

イ 申請書の記載内容

|   | 内 容               | 備 考                        |
|---|-------------------|----------------------------|
| ① | 志願者の氏名，住所，連絡先電話番号 |                            |
| ② | 出身大学名             |                            |
| ③ | 志望専攻名             |                            |
| ④ | 障害の種類・程度          | 医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付してください。 |
| ⑤ | 受験上の配慮を希望する事項     |                            |
| ⑥ | 修学上の配慮を希望する事項     |                            |
| ⑦ | 出身大学でとられていた特別措置   |                            |
| ⑧ | 日常生活の状況           |                            |

#### 4. 入学者選抜方法

**一般選抜**

学力検査（口述試験）及び学業成績証明書を総合して選考します。

| 専 攻 名      | 試 験 日                            | 試 験 内 容  |
|------------|----------------------------------|--|
| 量子物質科学専攻   | 平成29年8月7日（月）から8月25日（金）までの間に実施する。 | ・口述試験<br>（修士課程修了（見込）者は修士論文発表及び修士論文に関する試問を，修士課程修了以外の者は研究成果発表及び研究成果に関する試問を含む。） |
| 分子生命機能科学専攻 |                                  |  |
| 半導体集積科学専攻  |                                  |  |

（実施日時，場所等の詳細については，専攻（専攻長）から別途志願者に通知します。）

### 社会人特別選抜

学力検査（口述試験）、学業成績証明書、研究成果報告書及び研究計画書を総合して選考します。

| 専攻名        | 試験日  | 試験内容 |
|------------|--|------|
| 量子物質科学専攻   | 平成 29 年 8 月 7 日（月）<br>から 8 月 25 日（金）まで<br>の間に実施する。 | 口述試験 |
| 分子生命機能科学専攻 |  |      |
| 半導体集積科学専攻  |  |      |

（実施日時、場所等の詳細については、専攻（専攻長）から別途志願者に通知します。）

## 5. 合格者発表

### 一般選抜及び社会人特別選抜

平成 29 年 9 月 5 日（火）13 時（予定）

合格者の受験番号一覧表を先端物質科学研究科玄関に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

また、先端物質科学研究科ホームページ (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm>) にも掲載します。（電話等による照会には応じません。）

## 6. 納付金

入学料 282,000 円  
授業料 535,800 円（年額）（後期分 267,900 円）

（注）・既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

- ・上記記載の金額は平成 29 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。
- ・平成 29 年 9 月中旬の指定する期間に入学手続きを行うこととなります。入学料及び授業料の納付時期、納付方法並びに免除制度等の詳細については、入学手続き通知の際、別途お知らせします。

## 7. 出願資格の認定について

- (1) 「一般選抜」及び「社会人特別選抜」の出願資格（7）または（8）により出願しようとする者は、あらかじめ本研究科において、出願資格の審査を行いますので、該当する志願者は、次の書類等を平成29年5月24日（水）から5月31日（水）までに先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）へ提出してください。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けていません。

（郵送の際は、書留郵便とし、封筒表面に「入学試験出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。）

| No. | 提出書類等                | 摘 要  |
|-----|----------------------|--|
| 1   | 入学試験出願資格事前審査申請書      | 交付の用紙を使用。  |
| 2   | 入学試験出願資格事前審査調書(日本人用) | 交付の用紙を使用。日本人の志願者のみ。                                      |
| 3   | 入学試験出願資格事前審査調書(外国人用) | 交付の用紙を使用。外国人の志願者のみ。                                      |
| 4   | 研究成果報告書              | 交付の用紙を使用。出願時までの研究成果の概要を記載してください。                         |
| 5   | 研究成果報告書に関する説明資料      | 交付の用紙を使用。学術論文がある場合は、そのリスト及び論文別刷を添付してください。                |
| 6   | 最終学校の卒業証明書           | 中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業、又は卒業見込みの方は、(4)を参照してください。          |
| 7   | 返信用封筒                | 長形3号定形封筒(12cm×23.5cm)に本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、362円切手を貼付してください。 |

- (2) 認定審査の結果は、平成29年7月14日（金）までに本人あて通知します。
- (3) 認定を受けた者は、「3. 出願手続の(2) 提出書類等」のうち2, 4, 5, 7, 8, 9, 10の提出を必要としません。
- (4) 中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業した、または卒業見込みの方は、“毕业证书”及び“学士学位证书”に加え、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)により以下の書類を取得し、併せてご提出ください。

既卒者の場合.....学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)

卒業見込み者の場合.....オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

なお、発行手数料は1件につき2元かかりますが、志願者が負担すること。また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。

## 8. 長期履修学生制度について

本研究科では、社会人特別選抜により入学した者を対象として、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。

この制度による授業料は、標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

なお、長期履修期間の年限等、この制度の詳細については、先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）へお問い合わせください。

## 9. 注意事項

- (1) **大学院入学後は指導教員のもとで研究を行いますので、出願する者は希望する指導教員にあらかじめガイダンスを受けておく必要があります。**
- (2) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角形 2 号に郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手 250 円を貼付したもの。）を同封して、「平成 29 年 10 月入学博士課程後期〇〇専攻学生募集要項請求」と朱書し、先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）へ請求してください。
- (3) 願書送付の際は書留郵便とし、封筒表面に「先端物質科学研究科博士課程後期願書在中」と朱書してください。
- (4) 願書受理後は、提出書類及び検定料は返却しません。
- (5) 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- (6) 修士の学位を取得見込みで出願して合格した者が、入学日までに取得できなかった場合、入学資格がないものとみなされます。
- (7) 出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。
- (8) 気象状況の悪化、流行性の伝染病等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、[広島大学大学院先端物質科学研究科ホームページ](#)

(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm>)にて延期及び開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。

(9) 応募に際して不明な点があれば、下記へお問い合わせください。

広島大学先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）

所在地 〒739-8530 東広島市鏡山一丁目3番1号

TEL (082) 424-7008, 7009 (ダイヤルイン)

E-mail [sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp)

URL <https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm>

※ 電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

(広島市，安芸郡府中町，海田町，熊野町及び坂町の各地域)